【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2002-208572(P2002-208572A)
【公開日】平成14年7月26日(2002.7.26)
【出願番号】特願2001-1832(P2001-1832)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０１Ｌ　21/304
　Ｂ２４Ｂ　21/00
【ＦＩ】
　Ｈ０１Ｌ　21/304　６２１Ｂ
　Ｈ０１Ｌ　21/304　６２１Ｅ
　Ｂ２４Ｂ　21/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月5日(2004.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
研磨面を有する研磨テープが巻回された供給リールと、
前記研磨テープを巻取る巻取リールと、
前記供給リールと前記巻取リールとの間で前記研磨テープを研磨対象物の被研磨面に押圧する押圧部材と、
前記巻取リールを回転させるモータとを備えたことを特徴とする研磨装置。
【請求項２】
前記供給リールと前記巻取リールと前記押圧部材とを収納したカートリッジと、
前記カートリッジを着脱自在に保持するカートリッジ保持部とを備えたことを特徴とする請求項１に記載の研磨装置。
【請求項３】
前記押圧部材は、前記研磨テープを前記研磨対象物の側面に押圧することを特徴とする請求項１又は２に記載の研磨装置。
【請求項４】
前記押圧部材は、前記研磨テープを前記研磨対象物の裏面に押圧することを特徴とする請求項１又は２に記載の研磨装置。
【請求項５】
前記押圧部材は、前記研磨テープを前記研磨対象物の表面に押圧することを特徴とする請求項１又は２に記載の研磨装置。
【請求項６】
研磨後の前記研磨対象物の被研磨面を洗浄する洗浄装置と、
前記洗浄装置により洗浄された前記研磨対象物を乾燥する乾燥装置とを備えたことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項に記載の研磨装置。
【請求項７】
研磨後の前記研磨対象物の被研磨面を検査する検査装置を備えたことを特徴とする請求項１乃至６のいずれか一項に記載の研磨装置。
【請求項８】

研磨面を有する研磨テープが巻回された供給リールと、
前記研磨テープを巻取る巻取リールと、
前記供給リールと前記巻取リールとの間で前記研磨テープを研磨対象物の被研磨面に押圧する押圧部材と、
前記巻取リールを回転させるモータと、
前記押圧部材を配置する凹部が形成され、前記供給リールと前記巻取リールとを収納したカートリッジと、
前記カートリッジを着脱自在に保持するカートリッジ保持部とを備えたことを特徴とする研磨装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
このような従来技術における問題点を解決するために、本発明の一態様は、研磨面を有する研磨テープが巻回された供給リールと、上記研磨テープを巻取る巻取リールと、上記供給リールと上記巻取リールとの間で上記研磨テープを研磨対象物の被研磨面に押圧する押圧部材と、上記巻取リールを回転させるモータとを備えたことを特徴とする。
本発明の他の態様は、研磨面を有する研磨テープが巻回された供給リールと、上記研磨テープを巻取る巻取リールと、上記供給リールと上記巻取リールとの間で上記研磨テープを研磨対象物の被研磨面に押圧する押圧部材と、上記巻取リールを回転させるモータと、上記押圧部材を配置する凹部が形成され、上記供給リールと上記巻取リールとを収納したカートリッジと、上記カートリッジを着脱自在に保持するカートリッジ保持部とを備えたことを特徴とする。